

化学物質用途分類表等の改正について（案）

平成29年9月22日

厚生労働省医薬・生活衛生局医薬品審査管理課化学物質安全対策室
 経済産業省製造産業局化学物質管理課化学物質安全室
 環境省大臣官房環境保健部環境保健企画管理課化学物質審査室

1. 用途分類等の見直しの背景

化審法の平成21年改正によって導入されたスクリーニング評価・リスク評価では、化学物質の製造・輸入事業者による製造・輸入数量等の届出情報から環境中への化学物質の排出量を推計し、暴露評価を行っている。製造数量等の届出には、化学物質用途分類表の用途分類・詳細用途分類のコードを記載することになっており、用途分類・詳細用途分類別に設定されている排出係数を用いて排出量が推計されている。用途分類や排出係数について、これまでの運用において明らかになった問題点を解消すべく、今般、一部の見直しを実施することとした。

【参考】

化審法で用いている「化学物質用途分類表」は使用目的に対応する用途分類（例；塗料、コーティング剤）と機能に対応する詳細用途分類（例；硬化剤）の2段階構成で設定されている。

以下に化審法の各段階で用いる用途分類・排出係数の関係を示した。リスク評価に用いる用途分類・詳細用途分類と排出係数（ライフサイクルステージ別・詳細用途分類別・物理化学的性状区分別）が基礎になっており、その簡略化によりスクリーニング評価用と新規化学物質特例制度用の用途分類別の排出係数が導出されるという関係にある。

化審法の各段階における用途分類・排出係数の関係

段階	対象物質	排出量推計に係る 製造数量等の届出項目	排出量推計に用いる排出係数
スクリーニング評価	一般化学物質	<ul style="list-style-type: none"> 製造数量 用途分類別出荷数量 高分子化合物の該当の有無 	<ul style="list-style-type: none"> 製造段階の排出係数 用途分類別の排出係数
リスク評価	優先評価化学物質	<ul style="list-style-type: none"> 都道府県別製造数量 詳細用途分類別・都道府県別出荷数量 	<ul style="list-style-type: none"> 製造段階の物化性状区分別の排出係数 調合・使用等のライフサイクルステージ別・詳細用途分類別・物化性状区分別の排出係数
新規化学物質の特制度	少量新規化学物質・低生産量新規化学物質	<ul style="list-style-type: none"> 製造・輸入予定数量 用途分類 	<ul style="list-style-type: none"> 用途分類別の排出係数（資料2）

1 3. 化学物質用途分類表の改正案

2 これまでの運用において、下表①～④の問題点が明らかとなり、対象となる用途
 3 について、再分類、新設、整理・統合により改正案を作成した。⑤新たな知見によ
 4 る詳細用途分類の新設も行った（詳細は別紙1、別紙2参照）。

5
6

化学物質用途分類表の問題点と改正案の概要

問題点等	対象用途		
	現行	改正案	
① 過大・過小評価し てしまう用途分 類・詳細用途分類	(#27)プラスチック等の(k)発泡 剤、ラジカル発生剤	現行の#27-kはラジカル発生剤のみに して(#08)エアゾール用溶剤に(b)物理 発泡剤を新設	
	(#28)合成ゴム等の(j)発泡剤	現行の#28-jを廃止し (#21)火薬類に(c)化学発泡剤を新設	
	(#22)芳香剤、消臭剤の(a)香料	現行の#22-aを廃止し (#13)水系洗浄剤に(e)香料を新設	
	(#36)作動油等の(c)プロセス油の 基油と(g)プロセス油添加剤	現行の#36-c、#36-gを廃止し 合成ゴム等(#28)の可塑剤等(d)に追加	
② 詳細用途分類がな く、事業者から問 い合わせがあった もの	((#21)固形燃料は火薬類の(z)そ の他等で届出)	(#21)火薬類に(d)固形燃料を新設し、 #21の用途分類名を「火薬類、化学発 泡剤、固形燃料」に	
	((#44)建設資材は建設資材添加 物の(z)その他等で届出)	(#44)建設資材添加物に(f)建設資材を 新設し、#44の用途分類名を「建設資 材、建設資材添加物」に	
③ 複数の用途分類に 重複して該当して いた用途分類	レジスト材料が (#16)印刷インキ等[レジストイン キ用を含む]と(#24)フォトレジス ト材料等に分類あり	#16インキ等からはレジストインキを 除き、#24レジスト材料等に統合	
④ 事業者が選択を誤 まりやすい詳細用 途分類名称	例	(#07)工業用溶剤の (c)抽出溶剤、精製溶剤	(c)分離・精製用溶剤
		(#27)プラスチック等の (h)防曇剤、流適剤	(h)防曇剤、流適剤、撥水剤
		(#30)ガラス、ほうろう、セメ ントの(a)ガラス原料	(a)ガラス調合・成形原材料
⑤ 新たな知見による 新設	-	(#30)ガラス、ほうろう、セメントに(i) セメント加工助剤を新設	

7

8 以上のような用途分類の追加・削除を予定しているが、製造・輸入事業者が改正
 9 された用途分類で届け出しているかどうかを判別できるように、用途分類のコード
 10 を現行の2桁から3桁に変更する。

11 例) #01 中間物 → #101 中間物

12

13 4. 排出係数の設定方針

14 リスク評価用の詳細用途分類別排出係数の設定

15 ・ 新たに設定した詳細用途分類、改正する詳細用途分類について、事業者の取
 16 扱実態等を調査し、現行の排出係数設定と同様の方法で排出係数を設定する。

1 ・ 上記以外の排出係数についても、日本の排出実態に係る情報が得られたもの
2 については、それらの情報を加味して現行の排出係数設定と同様の方法で排
3 出係数の見直しを行う（現行の排出係数設定の方法は参考2参照）。

4

5 スクリーニング評価用の用途分類別排出係数の設定

6 ・ 詳細用途分類別排出係数が整理でき次第、用途分類別排出係数を、原則現行
7 と同様の方法で導出する（現行のスクリーニング評価用の排出係数の導出方
8 法は参考3参照）。

9

10 5. スケジュール案

11 平成29年9月 化学物質用途分類表改正案、排出係数設定方針に係る3省合
12 同審議会での審議

13 平成30年3月 排出係数設定方針に基づき、新たな用途分類別のリスク評
14 価・スクリーニング評価に用いる排出係数に係る3省合同審
15 議会での審議

16 4月頃 用途分類・排出係数に係るパブリックコメント

17 6月頃 用途分類・排出係数を確定し公表

化学物質用途分類表の改正について

- 用途分類見直しの観点
- 用途分類改正案
 - 用途分類のバージョン管理導入
 - 用途分類の見直し
 - ① 過大・過小評価してしまう用途分類の解消
 - ② 問い合わせがあった事例の反映
 - ③ 複数の用途分類に重複して該当していた用途の整理
 - ④ 詳細用途分類名の修正
 - ⑤ 新たな知見による修正

用途分類見直しの観点

(ア)類似した排出シナリオの用途をまとめる

- 類似した排出シナリオが想定された複数の詳細用途分類を同一の用途分類としていたが、過去8年間の運用を通じた知見によって、実際は異なる排出シナリオとすべきことが判明。
- また、「用途分類、詳細用途分類」には、すべての用途が明記されているわけではないため、判断できない用途については事業者から照会等有。
 - 再度、「用途分類、詳細用途分類」を精査する。その際、リスク評価結果への影響を考慮する。

(イ)事業者の実行可能性

- 届出を行う「製造・輸入事業者」が、届出可能な(解りやすい)用途分類であることを考慮する。

今回の用途分類見直しでは、インパクトの大きい問題点を中心に、事業者の実行可能性を考慮し、類似した排出シナリオを同一用途にまとめる。

用途分類のバージョン管理導入

- 背景
 - 用途分類の追加・削除を予定しているが、事業者が新しい用途分類で届け出しているのかどうか、行政側は確認するすべがない
- 具体的な対応
 - version管理を行うため、用途分類を三桁に変更例) #01「中間物」→#101「中間物」

3

用途分類の見直し

—①過大・過小評価してしまう用途分類の解消—

- 対象用途
 - 過大・過小してしまう可能性がある詳細用途
 - 発泡剤(#27-k又は#28-j)
 - 芳香剤、消臭剤(#22)
 - プロセス油の基油及び添加剤(#36c、#36g)
- 具体的な対応
 - より適切な用途分類に再分類し、必要に応じて詳細用途分類を新設

4

発泡剤 (#27-k又は#28-j)

- 現状
 - プラスチック用途では#27-k、ゴム用途では#28-jに該当
- 問題点
 - 発泡剤は原理の違いで排出係数が異なる
 - 物理発泡剤: 気化による発泡のため、排出量が大さいと想定
 - 化学発泡剤: 化学反応による発泡のため、排出量は小さいと想定
- 対応
 - 物理発泡剤: #08エアゾール用溶剤に詳細用途分類を新設
 - 化学発泡剤: #21火薬類に詳細用途分類を新設

※ 審議会の委員等から用途分類・排出係数の妥当性に対する指摘あり

5

発泡剤 (#27-k又は#28-j)

現行				変更案			
用途番号(0)	用途分類	詳細用途番号	詳細用途分類	用途番号(0)	用途分類	詳細用途番号	詳細用途分類
08	エアゾール用溶剤	a	エアゾール噴射剤、希釈剤	108	エアゾール用溶剤、物理発泡剤	a	エアゾール噴射剤、希釈剤
		z	その他			b	物理発泡剤
						z	その他
21	火薬類 [煙火を含む]	a	火薬、爆薬、火工品(#21-bを除く)、煙火	121	火薬類、化学発泡剤、固形塗料 [煙火を含む]	a	火薬、爆薬、火工品(#21-bを除く)、煙火
		b	自動車安全部品用ガス発生剤			b	自動車安全部品用ガス発生剤
						c	化学発泡剤
		z	その他			d	固形塗料
				z	その他		
27	プラスチック、プラスチック添加剤、プラスチック加工助剤 [#15,16,23,25,28を除く] [着色剤は#11]	a	成形品基材(プラスチック、合成皮革、合成紙、発泡体)	127	プラスチック、プラスチック添加剤、プラスチック加工助剤	a	成形品基材(プラスチック、合成皮革、人工皮革、合成紙、発泡体)
	
		k	発泡剤、ラジカル発生剤			k	ラジカル発生剤
	
		y	その他の添加剤(改質剤等)			y	その他の添加剤(改質剤等)
z	その他	z	その他				
28	合成ゴム、ゴム用添加剤、ゴム用加工助剤 [着色剤は#11]	a	成形品基材(エラストマー(合成ゴム))	128	合成ゴム、ゴム用添加剤、ゴム用加工助剤	a	成形品基材(エラストマー(合成ゴム))
	
		j	発泡剤			(廃止)	(廃止)
		y	その他の添加剤(改質剤等)			y	その他の添加剤(改質剤等)
		z	その他	z	その他		

6

芳香剤、消臭剤(#22)

- 現状
 - 洗浄剤の香料は用途番号#22-aに該当
- 問題点
 - #22-a洗浄剤の香料は全量水域排出だが、#22-b, c, dの芳香剤、消臭剤等は全量大気排出であり、同一用途分類内で排出係数の整合がとれていない
- 対応
 - 洗浄剤の香料は#13に移動し、詳細用途分類「#13-e香料」を新設
 - 今まで#22-zに分類されていた香料(#22-a、b、c以外の香料)は新たに#22-eに分類

7

芳香剤、消臭剤(#22)

現行				変更案				
用途番号(#)	用途分類	詳細用途番号	詳細用途分類	用途番号(#)	用途分類	詳細用途番号	詳細用途分類	
13	水系洗浄剤2 (家庭用・業務用の用途)	a	石鹸、洗剤、ウインドウオンシャー液(界面活性剤)	113	水系洗浄剤2 (家庭用・業務用の用途)	a	界面活性剤(石鹸、洗剤、ウインドウオンシャー液)	
						e	香料	
		z	その他			z	その他	
22	芳香剤、消臭剤	a	香料(洗浄剤用)[#22-b, cを除く]	122	芳香剤、消臭剤		(廃止) (廃止)	
		b	芳香剤			b	芳香剤	
		c	消臭剤			c	消臭剤	
		d	乳化剤、分散剤			d	乳化剤、分散剤	
		z	その他			e	香料[#113-e及び#122-b, cを除く]	
				z	その他		z	その他

#22a, b, c以外の香料

[洗浄剤用香料は#113]

8

プロセス油の基油及び添加剤(#36c、#36g)

- 現状
 - ゴム材料を軟化させ、加工しやすくする目的で使用されるゴム配合油(鉱油)であるプロセス油の基油は用途番号#36-c、その添加剤は#36-gに該当
- 問題点
 - プロセス油はゴム用途にしか利用されておらず、作動油・潤滑油と使用方法(排出シナリオ)が異なる
- 対応
 - プロセス油の基油及びその添加剤を用途分類#28に移動
 - 同じ排出シナリオと想定される#28-dの詳細用途分類に「プロセス油の基油・添加剤」を追加

9

プロセス油の基油及び添加剤(#36c、#36g)

現行				変更案			
用途番号(#)	用途分類	詳細用途番号	詳細用途分類	用途番号(#)	用途分類	詳細用途番号	詳細用途分類
28	合成ゴム、ゴム用添加剤、ゴム用加工助剤	b	成形品基材(エラストマー(合成ゴム))	128	合成ゴム、ゴム用添加剤、ゴム用加工助剤	b	成形品基材(エラストマー(合成ゴム))
	
		d	可塑剤、補強材(接着促進剤等)、充填剤			d	可塑剤、補強材(接着促進剤等)、充填剤、 プロセス油の基油・添加剤
	
		y	その他の添加剤(改質剤等)			y	その他の添加剤(改質剤等)
	[着色剤は#11]	z	その他		[着色剤は#111、物理帯電剤は#108、化学帯電剤は#121]	z	その他
36	作動油、絶縁油、プロセス油、潤滑油剤(エンジン油、軸受油、圧縮機油、グリース等)	a	作動油の基油、潤滑油剤の基油	136	作動油、絶縁油、潤滑油剤(エンジン油、軸受油、圧縮機油、グリース等)	a	作動油の基油、潤滑油剤の基油
		b	絶縁油の基油			b	絶縁油の基油
		c	プロセス油の基油			c	(廃止) (廃止)
	
		g	プロセス油添加剤			g	(廃止) (廃止)
	[#3]を除く	z	その他		[プロセス油、プロセス油添加剤は#128]	z	その他

10

用途分類の見直し

—②問い合わせがあった事例の反映—

対象用途

– 現在の用途分類にはないが、事業者から問合せのあった具体的な用途分類

- 固形燃料
- 建設資材

具体的な対応

– 用途分類名の変更及び詳細用途分類の新設

11

固形燃料(#47a)

– 反応消滅の用途である「#21-d 固形燃料」を新設

現行					変更案			
用途番号(④)	用途分類	詳細用途番号	詳細用途分類		用途番号(④)	用途分類	詳細用途番号	詳細用途分類
21	火薬類 [煙火を含む]	a	火薬、爆薬、火工品(#21-bを除く)、煙火	ろうそく、 線香、 たばこ (問合せ)	121	火薬類、化学兵器 類、固形燃料 [煙火を含む]	a	火薬、爆薬、火工品(#21-bを除く)、煙火
		z	その他				d	固形燃料
		a	燃料				z	その他
47	燃料、燃料添加剤	a	燃料	固形燃	147	燃料、燃料添加剤	a	燃料
		z	その他				z	その他

建設資材(#44、98)

– 用途分類#44「建設資材添加物」の用途分類名を変更し、「#44-f 建設資材」を新設

現行					変更案			
用途番号(④)	用途分類	詳細用途番号	詳細用途分類		用途番号(④)	用途分類	詳細用途番号	詳細用途分類
44	建設資材添加物(コンクリート混和剤、木材補強剤、浸透剤等)	a	表面硬化剤	建設資材 (問合せ)	144	建設資材、建設資材添加物	a	表面硬化剤
		z	その他				f	建設資材
98	その他の原料、その他の添加剤	a	その他	建設資材			z	その他
		z	その他の原料、その他の添加剤					

12

用途分類の見直し

③複数の用途分類に重複して該当していた用途の整理

- 対象用途
 - 同一用途が複数の用途分類に設定されているため、同じ用途でも事業者によって異なる用途分類を選択できる用途分類
 - レジスト材料の整理(#16、#24)
- 具体的な対応
 - 事業者の届出を統一させるため、用途分類名を変更し、統合する

13

レジスト材料の整理(#16、#24)

- 現状
 - 現行の用途分類表では、「レジスト〇〇材料」が#16と#24に重複して記載
- 問題点
 - #16と#24の排出係数が異なるため、同じレジスト材料でも届出された用途分類によって、推計排出量が異なる
- 対応
 - #16と#24の用途分類を変更し、#24に集約

現行				変更案			
用途番号	用途分類	詳細用途番号	詳細用途分類	用途番号	用途分類	詳細用途番号	詳細用途分類
16	印刷インキ、複写用薬剤(トナー等) [筆記用具、 レジストインキ用 を含む]	3	インキ用樹脂、トナー用樹脂	116	インキ、複写用薬剤(トナー等) [レジストインキを除く]	3	インキ用樹脂、トナー用樹脂
		2	その他			2	その他
24	フォトレジスト材料 、写真材料、印刷版材	3	感光性・感光性樹脂(フォトレジスト、印刷版等)	124	レジスト材料 、写真材料、印刷版材料	3	感光性・感光性樹脂(レジスト、印刷版等)
		2	その他			2	その他

14

用途分類の見直し

—④詳細用途分類名の修正—

- 具体的な対応
 - 適切な詳細用途分類名に修正
 - 事業者の理解しやすい用途分類・詳細用途分類の名称に修正

(例)

現行				変更案			
用途番号(④)	用途分類	詳細用途番号	詳細用途分類	用途番号(④)	用途分類	詳細用途番号	詳細用途分類
02	塗料用・フニス用・コーティング剤用・印刷・インキ用・複写用・殺生物剤用溶剤	e	印刷・インキ用溶剤、電子デバイス用溶剤、インキ溶剤、インキ洗浄剤	102	塗料用・フニス用・コーティング剤用・印刷・インキ用・複写用・殺生物剤用溶剤	e	インキ用溶剤、電子デバイス用溶剤、インキ洗浄剤、 殺専用溶剤
07	工業用溶剤	c	抽出溶剤、精製溶剤	107	工業用溶剤	c	分離・精製用溶剤
15	塗料、コーティング剤	c	熱・光硬化塗料のモノマー・オリゴマー、バインダー成分	115	塗料、コーティング剤	c	バインダー成分 前駆体(熱・光硬化塗料のモノマー・オリゴマー・プレポリマー等)
18	殺生物剤(成体昆虫に食まれ出資されるもの)	b	農着剤、乳化剤	118	殺生物剤(成体昆虫に食まれ出資されるもの)	b	農着剤、乳化剤、 分散剤
27	プラスチック、プラスチック添加剤、プラスチック加工助剤	h	防曇剤、流滴剤	127	プラスチック、プラスチック添加剤、プラスチック加工助剤	h	防曇剤、流滴剤、 撥水剤
30	ガラス、ほうろう、セメント	a	ガラス原料	130	ガラス、ほうろう、セメント	a	ガラス配合・成形原材料
		d	ほうろう原料			d	ほうろう配合・成形原材料(フリット等)
		e	セメント原料			e	セメント配合原料(クリンカ等)

15

用途分類の見直し

—⑤新たな知見による修正—

- 想定していたシナリオについて新たな知見が得られた用途
 - セメント関係
 - 詳細用途の新設

現行				変更案			
用途番号(④)	用途分類	詳細用途番号	詳細用途分類	用途番号(④)	用途分類	詳細用途番号	詳細用途分類
30	ガラス、ほうろう、セメント	a	ガラス原料	130	ガラス、ほうろう、セメント	a	ガラス配合・成形原材料
		b	ガラス添加剤(強化剤、集束剤、防曇剤、紫外線カット剤等)			b	ガラス添加剤(強化剤、集束剤、防曇剤、紫外線カット剤等)
		c	ガラス加工助剤(潤滑剤、pH調整剤等)			c	ガラス加工助剤(潤滑剤、pH調整剤等)
		d	ほうろう原料			d	ほうろう配合・成形原材料(フリット等)
		e	ほうろう添加剤(給付用乾等剤、フリット配合剤等)			e	ほうろう添加剤(給付用乾等剤、フリット配合剤等)
		f	ほうろう加工助剤(中和剤、ニッケル処理剤等)			f	ほうろう加工助剤(中和剤、ニッケル処理剤等)
		g	セメント原料			g	セメント配合原料(クリンカ等)
		h	セメント添加剤(混合材、膨張剤、阻化剤等)			h	セメント添加剤(混合材、膨張剤、阻化剤等)
		i				i	セメント加工助剤
		z	その他			z	その他

16

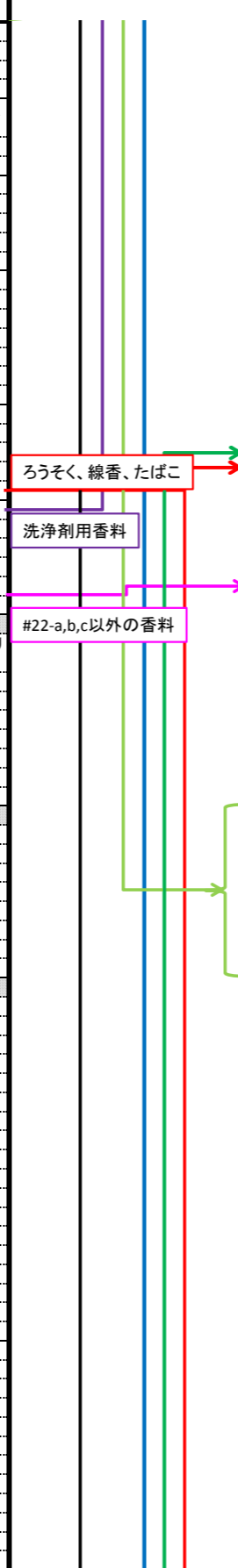
用途番号(#)	用途分類	詳細用途番号	詳細用途分類
01	中間物	a	合成原料、重合原料、前駆重合体
		b	重合開始剤
		z	その他
溶 剤			
02	塗料用・ワニス用・コーティング剤用・印刷インキ用・複写用・殺生物剤用溶剤	a	塗料用溶剤、塗料希釈剤
		b	塗料剥離剤
		c	ワニス用溶剤
		d	コーティング剤用溶剤、レジスト塗布用溶剤
		e	印刷インキ用溶剤、電子デバイス用溶剤、インキ溶剤、インキ洗浄剤
		f	殺生物剤用溶剤
		z	その他
03	接着剤用・粘着剤用・シーリング材用溶剤	a	接着剤用溶剤、粘着剤用溶剤
		b	接着剤剥離用溶剤、糊剥離用溶剤
		c	接着用溶剤
		d	シーリング材用溶剤
		z	その他
04	金属洗浄用溶剤	a	金属洗浄用溶剤(塩素系)
		z	その他
05	クリーニング洗浄用溶剤 (洗濯業での用途)	a	ドライクリーニング溶剤
		b	染み抜き剤、ドライクリーニング溶剤抽出剤
		z	その他
06	その他の洗浄用溶剤 [#04.05を除く]	a	フォトレジスト現像用溶剤、レジスト剥離用溶剤
		z	その他
07	工業用溶剤 [#02-06の溶剤を除く]	a	合成反応用溶剤
		b	紡糸用溶剤、製膜用溶剤
		c	抽出溶剤、精製溶剤
		d	希釈溶剤
		z	その他
08	エアゾール用溶剤	a	エアゾール噴射剤、希釈剤
		z	その他
09	その他の溶剤	z	その他の溶剤
溶 剤 以 外			
10	化学プロセス調節剤	a	触媒、触媒担体
		b	イオン交換樹脂、イオン交換膜、分離膜、隔膜、濾過補助剤(脱蠟助剤等)
		c	乳化剤、分散剤
		d	重合調節(停止)剤、重合禁止剤、安定剤
		e	光学分割剤
		z	その他
11	着色剤(染料、顔料、色素、色材) [#12.13.15.16.25.26.29を除く]	a	着色剤(染料、顔料、色素、色材)
		b	蛍光増白剤
		c	発色剤、発色助剤
		z	その他
12	水系洗浄剤1 (工業用途) [#25.26を除く]	a	石鹼、洗剤(界面活性剤)
		b	無機アルカリ、有機アルカリ、無機酸、有機酸、漂白剤
		c	ビルダー(キレート剤、再付着防止剤等)、添加(補助)剤(消泡剤等)
		d	防錆剤
		z	その他
13	水系洗浄剤2 (家庭用・業務用の用途)	a	石鹼、洗剤、ウインドウォッシャー液(界面活性剤)
		b	柔軟剤(界面活性剤)
		c	無機アルカリ、有機アルカリ、無機酸、有機酸、漂白剤
		d	ビルダー(キレート剤、再付着防止剤等)、添加(補助)剤(酵素、蛍光増白剤、紫外線吸収剤等)
		z	その他
14	ワックス(床用、自動車用、皮革用等)	a	ワックス
		b	乳化剤、分散剤
		z	その他
15	塗料、コーティング剤 [プライマーを含む]	a	塗料用樹脂、コーティング剤用樹脂
		b	着色剤(染料、顔料、光輝剤)
		c	熱・光硬化塗料のモノマー・オリゴマー、バインダー成分
		d	架橋剤、硬化剤、増感剤、重合開始剤、光酸発生剤、光塩基発生剤
		e	可塑剤、充填剤
		f	安定化剤(酸化防止剤等)
		g	皮張り防止剤、増粘剤、消泡剤、ブロッキング防止剤、平滑剤、導電性改良剤
		h	乳化剤、分散剤、濡れ剤、浸透剤、表面調整剤、造膜助剤
		i	腐食防止剤、防錆剤、防腐剤、防かび剤、抗菌剤
		j	乾燥促進剤、湿潤剤、難燃剤、撥水剤
		z	その他
16	印刷インキ、複写用薬剤(トナー等) [筆記用具、レジストインキを含む]	a	インキ用樹脂、トナー用樹脂
		b	着色剤(染料、顔料、色素)、感熱色素、感圧色素、蛍光増白剤、顕色剤
		c	紫外線・電子線硬化インキのモノマー・オリゴマー、増感剤、重合開始剤
		d	可塑剤、充填剤
		e	安定化剤(酸化防止剤等)
		f	皮張り防止剤、増粘剤、消泡剤、ブロッキング防止剤
		g	乳化剤、分散剤、濡れ剤、浸透剤、造膜助剤
		h	電荷制御剤、流動性付与剤、研磨性付与剤、滑り性付与剤
		i	乾燥促進剤、湿潤剤
		z	その他

レジスト材料

用途番号(#)	用途分類	詳細用途番号	詳細用途分類
101	中間物	a	合成原料、重合原料、 プレポリマー
		b	重合開始剤
		z	その他
溶 剤			
102	塗料用・ワニス用・コーティング剤用・インキ用・複写用・殺生物剤用溶剤	a	塗料用溶剤、塗料希釈剤
		b	塗料剥離剤
		c	ワニス用溶剤
		d	コーティング剤用溶剤、レジスト塗布用溶剤
		e	インキ用溶剤、電子デバイス用溶剤、インキ洗浄剤、 複写用溶剤
		f	殺生物剤用溶剤
		z	その他
103	接着剤用・粘着剤用・シーリング材用溶剤	a	接着剤用溶剤、粘着剤用溶剤
		b	接着剤剥離用溶剤、糊剥離用溶剤
		c	接着用溶剤
		d	シーリング材用溶剤
		z	その他
104	金属洗浄用溶剤	a	金属洗浄用溶剤(塩素系)
		z	その他
105	クリーニング洗浄用溶剤 (洗濯業での用途)	a	ドライクリーニング溶剤
		b	染み抜き 用溶剤 、ドライクリーニング溶剤抽出剤
		z	その他
106	その他の洗浄用溶剤 [#104.105を除く]	a	レジスト現像用溶剤、レジスト剥離用溶剤
		z	その他
107	工業用溶剤 [#102-106を除く]	a	合成反応用溶剤
		b	紡糸用溶剤、製膜 (成膜) 用溶剤
		c	分離・精製用溶剤
		d	希釈溶剤
		z	その他
108	エアゾール用溶剤、 物理発泡剤	a	エアゾール噴射剤、希釈剤
		b	物理発泡剤
		z	その他
109	その他の溶剤	z	その他の溶剤
溶 剤 以 外			
110	化学プロセス調節剤	a	触媒、触媒担体
		b	イオン交換樹脂、イオン交換膜、分離膜、隔膜、濾過補助剤(脱蠟助剤等)
		c	乳化剤、分散剤
		d	重合調節(停止)剤、重合禁止剤、安定剤
		e	光学分割剤
		z	その他
111	着色剤(染料、顔料、色素、色材) [#112.113.115.116.125.126.129を除く]	a	着色剤(染料、顔料、色素、色材)
		b	蛍光増白剤
		c	発色剤、発色助剤
		z	その他
112	水系洗浄剤1 (工業用途) [#125.126.129を除く]	a	界面活性剤(石鹼・合成洗剤用)
		b	無機アルカリ、有機アルカリ、無機酸、有機酸、漂白剤
		c	ビルダー(キレート剤、再付着防止剤等)、添加(補助)剤(消泡剤等)
		d	防錆剤
		z	その他
113	水系洗浄剤2 (家庭用・業務用の用途)	a	界面活性剤(石鹼・合成洗剤・ウインドウォッシャー液用)
		b	柔軟剤
		c	無機アルカリ、有機アルカリ、無機酸、有機酸、漂白剤
		d	ビルダー(キレート剤、再付着防止剤等)、添加(補助)剤(酵素、蛍光増白剤、紫外線吸収剤等)
		e	香料
		z	その他
114	ワックス(床用、自動車用、皮革用等)	a	ワックス
		b	乳化剤、分散剤
		z	その他
115	塗料、コーティング剤 [プライマーを含む]	a	塗料用樹脂、コーティング剤用樹脂
		b	着色剤(染料、顔料、光輝剤)
		c	バインダー成分 前駆体(熱・光硬化塗料のモノマー・オリゴマー・プレポリマー)
		d	架橋剤、硬化剤、増感剤、重合開始剤、光酸発生剤、光塩基発生剤
		e	可塑剤、充填剤
		f	安定化剤(酸化防止剤等)
		g	皮張り防止剤、増粘剤、消泡剤、ブロッキング防止剤、平滑剤、導電性改良剤
		h	乳化剤、分散剤、濡れ剤、浸透剤、表面調整剤、造膜助剤
		i	腐食防止剤、防錆剤、防腐剤、防かび剤、抗菌剤
		j	乾燥促進剤、湿潤剤、難燃剤、撥水剤
		z	その他
116	インキ、複写用薬剤(トナー等) [レジストインキを除く]	a	インキ用樹脂、トナー用樹脂
		b	着色剤(染料、顔料、色素)、感熱色素、感圧色素、蛍光増白剤、顕色剤
		c	紫外線・電子線硬化インキのモノマー・オリゴマー、 プレポリマー 、増感剤、重合開始剤
		d	可塑剤、充填剤
		e	安定化剤(酸化防止剤等)
		f	皮張り防止剤、増粘剤、消泡剤、ブロッキング防止剤
		g	乳化剤、分散剤、濡れ剤、浸透剤、造膜助剤
		h	電荷制御剤、流動性付与剤、研磨性付与剤、滑り性付与剤
		i	乾燥促進剤、湿潤剤
		z	その他

化学物質用途分類表見直し変更(案)

用途番号 (#)	用途分類	詳細用途番号	詳細用途分類
17	船底塗料用防汚剤、漁網用防汚剤	a	防汚剤用樹脂[添加剤も含む]
		b	船底塗料用防汚剤
		c	漁網用防汚剤
		z	その他
18	殺生物剤1 [成形品に含まれ出荷されるもの]	a	殺菌剤、殺虫剤、防腐剤、防かび剤、抗菌剤(細菌増殖抑制剤、木材の防腐剤、防蟻剤)
		b	展着剤、乳化剤
		z	その他
19	殺生物剤2 [工程内使用で成形品に含まれないもの] 《工業用途》	a	不快害虫用殺虫剤(害虫駆除剤、昆虫誘引剤、共力剤)
		b	ガス滅菌剤、薫蒸剤、燻煙剤
		c	殺菌剤、消毒剤、防腐剤、抗菌剤
		d	展着剤、乳化剤
		z	その他
20	殺生物剤3 《家庭用・業務用の用途》	a	不快害虫用殺虫剤(害虫駆除剤、昆虫誘引剤、共力剤)
		b	繊維用・紙用防虫剤
		c	シロアリ駆除剤、防蟻剤
		d	殺菌剤、消毒剤、防腐剤、防かび剤、抗菌剤、除菌剤
		e	非農耕地用除草剤
		f	展着剤、乳化剤
		z	その他
21	火薬類 [煙火を含む]	a	火薬、爆薬、火工品[#21-bを除く]、煙火
		b	自動車安全部品用ガス発生剤
		z	その他
22	芳香剤、消臭剤	a	香料(洗浄剤用)[#22-b,cを除く]
		b	芳香剤
		c	消臭剤
		d	乳化剤、分散剤
		z	その他
23	接着剤、粘着剤、シーリング材	a	接着剤用樹脂、粘着剤用樹脂、シーリング材用樹脂
		b	バインダー成分(モノマー、プレポリマー、硬化剤、硬化促進剤、開始剤、カップリング剤)
		c	可塑剤、充填剤
		d	安定化剤(老化防止剤等)
		e	皮張り防止剤、増粘剤、消泡剤、ブロッキング防止剤、平滑剤
		f	表面調整剤、分散剤
		g	防腐剤、防かび剤、抗菌剤
		h	難燃剤、導電剤
		z	その他
24	フォトレジスト材料、写真材料、印刷版材料	a	感光性・感電子性樹脂(フォトレジスト、印刷版等)
		b	感光性・感電子性樹脂のモノマー・オリゴマー
		c	感光剤、電子写真感光体、光重合開始剤、光酸発生剤、光塩基発生剤
		d	色素形成カプラー(カラー写真用)
		e	乳化剤、分散剤
		f	定着剤、安定化剤
		g	硬化剤、増感剤、減感剤、架橋密度向上剤、重合開始剤、レジスト添加剤
		h	現像剤、水溶性処理薬品、レジスト剥離剤
		z	その他
25	合成繊維、繊維処理剤 [不織布処理を含む]	a	成形品基材(合成繊維、不織布)
		b	着色剤(染料、顔料)、蛍光増白剤
		c	集束剤
		d	防炎剤、難燃剤
		e	含浸補強剤、染料固着剤(フィックス剤)
		f	帯電防止剤、親水加工剤
		g	柔軟仕上げ剤
		h	形態安定加工剤
		i	撥水剤、撥油剤、防水加工剤、防汚加工剤
		j	抗菌剤、変色防止剤、紫外線吸収剤
		k	紡糸・紡績・織造油剤、紡糸・紡績・織造油助剤
		l	洗浄剤、精練洗浄剤(ソービング剤)、潤滑剤
		m	キレート剤
		n	漂白剤、抜染剤
		o	均染剤、浸透剤、促染剤(染色助剤)、媒染剤、捺染用糊剤
		p	乳化剤、分散剤、消泡剤
		q	マーセル化助剤
		r	糊抜き剤
		z	その他
26	紙・ハルブ薬品	a	着色剤(染料、顔料)、蛍光増白剤
		b	サイズ剤、定着剤、填料
		c	コーティング剤
		d	防炎剤、難燃剤、帯電防止剤
		e	紙力増強剤、歩留向上剤、定着剤(フィックス剤)、防錆剤
		f	撥水剤、撥油剤、防水加工剤
		g	嵩高剤、柔軟剤
		h	蒸解薬液、pH調節剤
		i	スライムコントロール剤(防腐剤)、ビッチコントロール剤
		j	漂白剤、漂白浴安定剤
		k	乳化剤、分散剤、消泡剤、脱墨剤、洗浄剤
		z	その他

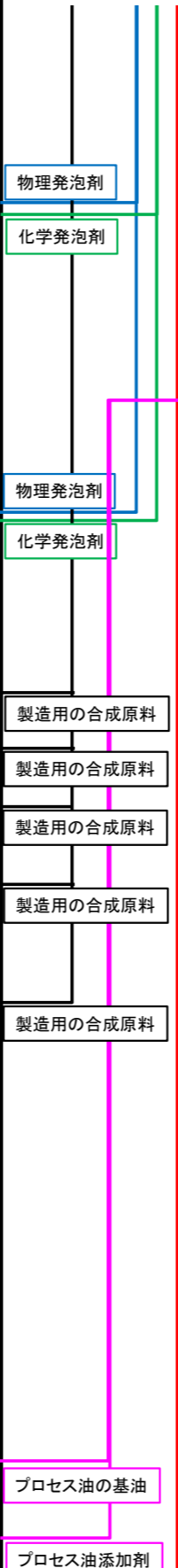


用途番号 (#)	用途分類	詳細用途番号	詳細用途分類
117	船底塗料用防汚剤、漁網用防汚剤	a	防汚剤用樹脂[添加剤も含む]
		b	船底塗料用防汚剤
		c	漁網用防汚剤
		z	その他
118	殺生物剤1 [成形品に含まれ出荷されるもの]	a	殺菌剤、殺虫剤、防腐剤、防かび剤、抗菌剤(細菌増殖抑制剤、木材の防腐剤、防蟻剤)
		b	展着剤、乳化剤、 分散剤
		z	その他
119	殺生物剤2 [工程内使用で成形品に含まれないもの] 《工業用途》	a	不快害虫用殺虫剤(害虫駆除剤、昆虫誘引剤、共力剤)
		b	ガス滅菌剤、 薫蒸剤 、燻煙剤
		c	殺菌剤、消毒剤、防腐剤、抗菌剤
		d	展着剤、乳化剤、 分散剤
		z	その他
120	殺生物剤3 《家庭用・業務用の用途》	a	不快害虫用殺虫剤(害虫駆除剤、昆虫誘引剤、共力剤)
		b	繊維用・紙用防虫剤
		c	シロアリ駆除剤、防蟻剤
		d	殺菌剤、消毒剤、防腐剤、防かび剤、抗菌剤、除菌剤
		e	非農耕地用除草剤
		f	展着剤、乳化剤、 分散剤
		z	その他
121	火薬類、化学発泡剤、固形燃料 [煙火を含む]	a	火薬、爆薬、火工品[#121-bを除く]、煙火
		b	自動車安全部品用ガス発生剤
		c	化学発泡剤
		d	固形燃料
		z	その他
122	芳香剤、消臭剤	(廃止)	(廃止)
		b	芳香剤
		c	消臭剤
		d	乳化剤、分散剤
		e	香料[#113-e及び#122-b,cを除く]
		z	その他
123	接着剤、粘着剤、シーリング材	a	接着剤用樹脂、粘着剤用樹脂、シーリング材用樹脂
		b	バインダー成分 前駆体 (モノマー・ オリゴマー ・プレポリマー等、硬化剤、硬化促進剤、開始剤、カップリング剤)
		c	可塑剤、充填剤
		d	安定化剤(老化防止剤等)
		e	皮張り防止剤、増粘剤、消泡剤、ブロッキング防止剤、平滑剤
		f	表面調整剤、 乳化剤 、分散剤
		g	防腐剤、防かび剤、抗菌剤
		h	難燃剤、導電剤
		z	その他
124	レジスト材料、写真材料、印刷版材料	a	感光性・感電子性樹脂(レジスト、印刷版等)
		b	感光性・感電子性樹脂のモノマー・オリゴマー、 プレポリマー
		c	感光剤、光重合開始剤、光酸発生剤、光塩基発生剤
		d	色素形成カプラー(カラー写真用)
		e	乳化剤、分散剤
		f	定着剤、安定化剤
		g	硬化剤、増感剤、減感剤、架橋密度向上剤、重合開始剤、レジスト添加剤
		h	現像剤、水溶性処理薬品、レジスト剥離剤
		z	その他
125	合成繊維、繊維処理剤	a	成形品基材(合成繊維、不織布)
		b	着色剤(染料、顔料)、蛍光増白剤
		c	集束剤
		d	防炎剤、難燃剤
		e	含浸補強剤、染料固着剤(フィックス剤)
		f	帯電防止剤、親水加工剤
		g	柔軟仕上げ剤
		h	形態安定加工剤
		i	撥水剤、撥油剤、防水加工剤、防汚加工剤
		j	抗菌剤、変色防止剤、紫外線吸収剤
		k	紡糸・紡績・織造油剤、紡糸・紡績・織造油助剤
		l	洗浄剤、精練洗浄剤(ソービング剤)、潤滑剤
		m	キレート剤
		n	漂白剤、抜染剤
		o	均染剤、浸透剤、促染剤(染色助剤)、媒染剤、捺染用糊剤
		p	乳化剤、分散剤、消泡剤
		q	マーセル化助剤
		r	糊抜き剤
		z	その他
126	紙・ハルブ薬品	a	着色剤(染料、顔料)、蛍光増白剤
		b	サイズ剤、定着剤、填料
		c	コーティング剤
		d	防炎剤、難燃剤、帯電防止剤
		e	紙力増強剤、歩留向上剤、定着剤(フィックス剤)、防錆剤
		f	撥水剤、撥油剤、防水加工剤
		g	嵩高剤、柔軟剤
		h	蒸解薬液、pH調節剤
		i	スライムコントロール剤(防腐剤)、ビッチコントロール剤
		j	漂白剤、漂白浴安定剤
		k	乳化剤、分散剤、消泡剤、脱墨剤、洗浄剤
		z	その他

網掛け部分は、化審法上の高分子化合物に該当するもののみ選択可能な詳細用途分類

化学物質用途分類表見直し変更(案)

用途番号 (#)	用途分類	詳細用途番号	詳細用途分類
27	プラスチック、プラスチック添加剤、プラスチック加工助剤	a	成形品基材(プラスチック、合成皮革、合成紙、発泡体)
		b	高吸水性材料
		c	可塑剤、分散剤
		d	安定化剤(酸化防止剤等)
		e	充填剤、希釈剤、ポリマー分解促進剤
		f	結晶核剤
		g	内部滑剤、内部離型剤
		h	防曇剤、流滴剤
		i	難燃剤、帯電防止剤、波長変換剤
		j	外部滑剤、外部離型剤
		k	発泡剤、ラジカル発生剤
		l	注型用・注型発泡用材料(モノマー、プレポリマー等)
		m	硬化剤、架橋剤(FRP用モノマー等)、架橋助剤、増感剤、重合開始剤
n	硬化促進剤		
y	その他の添加剤(改質剤等)		
z	その他		
28	合成ゴム、ゴム用添加剤、ゴム用加工助剤	a	成形品基材(エラストマー(合成ゴム))
		b	加硫促進剤、加硫促進剤助剤(加硫活性化剤)
		c	加硫剤、架橋剤、架橋助剤
		d	可塑剤、補強材(接着促進剤等)、充填剤
		e	安定化剤(老化防止剤等)
		f	スコーチ防止剤、素練促進剤、内部滑剤、内部離型剤
		g	ラテックス凝固剤、乳化剤、分散剤、沈降防止剤
		h	難燃剤、帯電防止剤
		i	外部滑剤、外部離型剤
		j	発泡剤
		k	ゴム再生剤(脱硫剤等)
		y	その他の添加剤(改質剤等)
		z	その他
29	皮革処理剤	a	なめし剤
		b	仕上げ加工薬剤(漂白剤、着色剤、着色助剤、撥水剤、撥油剤、油剤、脱脂剤、加脂剤等)
		c	準備工程(なめし前)薬剤(脱脂剤、脱灰剤等)
		z	その他
30	ガラス、ほうろろ、セメント	a	ガラス原料
		b	ガラス添加剤(強化剤、集束剤、防曇剤、紫外線カット剤等)
		c	ガラス加工助剤(離型剤、pH調節剤等)
		d	ほうろろ原料
		e	ほうろろ添加剤(絵付け用転写剤、フリット配合薬剤等)
		f	ほうろろ加工助剤(中和剤、ニッケル処理剤等)
		g	セメント原料
		h	セメント添加剤(混合材、膨張剤、固化剤等)
z	その他		
31	陶磁器、耐火物、ファインセラミックス	a	陶磁器原料、耐火物原料、ファインセラミックス原料
		b	陶磁器添加剤、耐火物添加剤、ファインセラミックス添加剤(焼結助剤等)
		c	成形助剤(バインダー、増粘剤、可塑剤、潤滑剤、分散剤等)
		d	滑剤、離型剤
		z	その他
32	研削砥石、研磨剤、摩擦材、固体潤滑剤	a	研削砥石原料、研磨剤原料、摩擦材原料、固体潤滑剤原料
		b	研削砥石・研磨剤・摩擦材・固体潤滑剤添加剤(バインダー、増粘剤、研磨助剤、分散剤、摩擦調整剤、潤滑剤等)
		c	滑剤、離型剤
		z	その他
33	金属製造加工用資材	a	金属用添加剤(接種剤等)
		b	加工助剤(フラックス等)
		c	鑄造用粘結剤、鑄造用硬化剤、鑄造用添加剤
		d	鑄造用離型剤、鑄造用塗型剤
		z	その他
34	表面処理剤	a	めっき薬剤(皮膜成分原料)
		b	めっき浴添加剤(光沢付与剤、煤霧防止剤、無電解めっきの還元剤等)
		c	化成処理薬剤
		d	真空めっき(蒸着等)薬剤、溶射処理薬剤
		e	表面硬化処理(浸炭、窒化等)薬剤
		f	表面フッ素化処理薬剤、表面シリル化処理薬剤
		g	エッチング処理薬剤、スパッタリング処理薬剤、プラスト処理薬剤
z	その他		
35	溶接材料、ろう接材料、溶断用材料	a	溶接フラックス
		b	ろう接フラックス(酸化防止剤等)
		c	溶接用ガス、溶断用ガス
		z	その他
36	作動油、絶縁油、プロセス油、潤滑油剤(エンジン油、軸受油、圧縮機油、グリース等)	a	作動油の基油、潤滑油剤の基油
		b	絶縁油の基油
		c	プロセス油の基油
		d	グリース増ちょう剤
		e	作動油添加剤、潤滑油剤添加剤
		f	絶縁油添加剤
		g	プロセス油添加剤
		z	その他



用途番号 (#)	用途分類	詳細用途番号	詳細用途分類
127	プラスチック、プラスチック添加剤、プラスチック加工助剤	a	成形品基材(プラスチック、合成皮革、 人工皮革 、合成紙、発泡体)
		b	高吸水性材料
		c	可塑剤、 乳化剤 、分散剤
		d	安定化剤(酸化防止剤等)
		e	充填剤、希釈剤、ポリマー分解促進剤
		f	結晶核剤
		g	内部滑剤、内部離型剤
		h	防曇剤、流滴剤、 撥水剤
		i	難燃剤、帯電防止剤、波長変換剤
		j	外部滑剤、外部離型剤
		k	ラジカル発生剤
		l	注型用・注型発泡用材料(モノマー、 オリゴマー 、プレポリマー等)
		m	硬化剤、架橋剤(FRP用モノマー、 オリゴマー 、プレポリマー等)、架橋助剤、増感剤、重合開始剤
n	硬化促進剤		
y	その他の添加剤(改質剤等)		
z	その他		
128	合成ゴム、ゴム用添加剤、ゴム用加工助剤	a	成形品基材(エラストマー(合成ゴム))
		b	加硫促進剤、加硫促進剤助剤(加硫活性化剤)
		c	加硫剤、架橋剤、架橋助剤
		d	可塑剤、補強材(接着促進剤等)、充填剤、 プロセス油の基油・添加剤
		e	安定化剤(老化防止剤等)
		f	スコーチ防止剤、素練促進剤、内部滑剤、内部離型剤
		g	ラテックス凝固剤、乳化剤、分散剤、沈降防止剤
		h	難燃剤、帯電防止剤、 波長変換剤
		i	外部滑剤、外部離型剤
		j	(廃止)
		k	ゴム再生剤(脱硫剤等)
		y	その他の添加剤(改質剤等)
		z	その他
129	皮革処理剤	a	なめし剤
		b	仕上げ加工薬剤(漂白剤、着色剤、着色助剤、撥水剤、撥油剤、油剤、脱脂剤、加脂剤等)
		c	準備工程(なめし前)薬剤(脱脂剤、脱灰剤等)
		z	その他
130	ガラス、ほうろろ、セメント	a	ガラス調合・成形原材料
		b	ガラス添加剤(強化剤、集束剤、防曇剤、紫外線カット剤等)
		c	ガラス加工助剤(離型剤、pH調節剤等)
		d	ほうろろ調合・成形原材料(フリット等)
		e	ほうろろ添加剤(絵付け用転写剤、フリット配合薬剤等)
		f	ほうろろ加工助剤(中和剤、ニッケル処理剤等)
		g	セメント調合原料(クリンカ等)
		h	セメント添加剤(混合材、膨張剤、固化剤等)
i	セメント加工助剤		
z	その他		
131	陶磁器、耐火物、ファインセラミックス	a	陶磁器・耐火物・ファインセラミックスの調合・成形原材料
		b	陶磁器添加剤、耐火物添加剤、ファインセラミックス添加剤(焼結助剤等)
		c	成形助剤(バインダー、増粘剤、可塑剤、潤滑剤、 乳化剤 、分散剤等)
		d	滑剤、離型剤
		z	その他
132	研削砥石、研磨剤、摩擦材、固体潤滑剤	a	研削砥石・研磨剤・摩擦材・固体潤滑剤の調合・成形原材料
		b	研削砥石・研磨剤・摩擦材・固体潤滑剤の添加剤(バインダー、増粘剤、研磨助剤、分散剤、摩擦調整剤、潤滑剤等)
		c	滑剤、離型剤
		z	その他
133	金属製造加工用資材	a	金属用添加剤(接種剤等)
		b	加工助剤(フラックス等)
		c	鑄造用粘結剤、鑄造用硬化剤、鑄造用添加剤
		d	鑄造用離型剤、鑄造用塗型剤
		z	その他
134	表面処理剤	a	めっき薬剤(皮膜成分原料)
		b	めっき浴添加剤(光沢付与剤、煤霧防止剤、無電解めっきの還元剤等)
		c	化成処理薬剤
		d	真空めっき(蒸着等)薬剤、溶射処理薬剤
		e	表面硬化処理(浸炭、窒化等)薬剤
		f	表面フッ素化処理薬剤、表面シリル化処理薬剤
		g	エッチング処理薬剤、スパッタリング処理薬剤、プラスト処理薬剤
z	その他		
135	溶接材料、ろう接材料、溶断用材料	a	溶接フラックス
		b	ろう接フラックス(酸化防止剤等)
		c	溶接用ガス、溶断用ガス
		z	その他
136	作動油、絶縁油、潤滑油剤(エンジン油、軸受油、圧縮機油、グリース等)	a	作動油の基油、潤滑油剤の基油
		b	絶縁油の基油
		c	プロセス油の基油
		d	グリース増ちょう剤
		e	作動油添加剤、潤滑油剤添加剤
		f	絶縁油添加剤
		g	プロセス油添加剤
		z	その他

網掛け部分は、化審法上の高分子化合物に該当するもののみ選択可能な詳細用途分類

化学物質用途分類表見直し変更(案)

用途番号 (#)	用途分類	詳細用途番号	詳細用途分類
37	金属加工油(切削油、圧延油、プレス油、熱処理油等)、防錆油	a	水溶性金属加工油の基油
		b	不溶性金属加工油の基油、防錆油の基油
		c	水溶性金属加工油添加剤
		d	不溶性金属加工油添加剤、防錆油添加剤
		z	その他
38	電気・電子材料 [対象材料等の製造用プロセス材料を含む]	a	磁性材料[#38-fを除く]、導電材料、超電導材料、蛍光体材料
		b	半導体材料、有機半導体材料、液晶材料
		c	誘電体材料、抵抗体材料、固体電解質材料、電解液材料、セパレータ材料
		d	光導波路材料(光ファイバを含む)、光学フィルム材料、電子機器用光材料
		e	封止材、絶縁材料、シールド材料
		f	電子記憶媒体材料(磁性材料、光吸収色素等)
		z	その他
	[絶縁油は#36]		
39	電池材料(一次電池、二次電池)	a	電解質材料、電解液材料、絶縁材料、セパレータ材料
		b	電極材料(活物質、集電体、導電剤、バインダー等)、減極剤
		z	その他
40	水処理剤	a	腐食防止剤、防錆剤、防食剤、防スケール剤、防藻剤
		b	金属イオン捕捉剤、金属イオン封鎖剤、硬水軟化剤
		c	イオン交換体(有機及び無機イオン交換体)、分離膜
		d	酸化剤、還元剤、pH調節剤
		e	消泡剤、凝集剤、濾過助剤、脱水助剤、イオン交換樹脂再生剤
		z	その他
41	乾燥剤、吸着剤	a	乾燥剤、脱水剤
		b	吸着剤(脱臭剤、脱硝剤、ガス吸着剤等)
		c	吸収剤(脱酸素剤等)
		z	その他
42	熱媒体	a	冷媒、冷却剤
		b	熱媒、加熱剤
		z	その他
43	不凍液	a	不凍液(LLC等)
		b	防錆剤、防食剤
		z	その他
44	建設資材添加物(コンクリート混和剤、木材補強含浸剤等)	a	表面硬化剤
		b	コンクリート混和剤(強化剤、減水剤)
		c	離型剤、消泡剤
		d	木材補強含浸剤、木質板添加剤
		e	防汚剤[#17-b,cを除く]、防水剤、撥水剤
		z	その他
45	散布剤、埋立処分前処理薬剤(融雪剤、土壌改良剤、消火剤等)	a	凍結防止剤(融雪剤等)
		b	土壌改良剤、地盤改良剤
		c	消火剤
		d	人工降雨剤
		e	油処理剤
		f	粉塵結合剤、粉塵防止剤、煤塵処理剤
		z	その他
46	分離・精製プロセス剤 《鉱業、金属製造業での用途》 [抽出・精製溶剤は#07]	a	浮選剤(捕収剤、起ほう剤、条件剤)、金属浸出剤
		b	凝集剤、分散剤、金属捕捉剤
		z	その他
47	燃料、燃料添加剤	a	燃料
		b	燃料添加剤(清浄分散剤、酸化防止剤、粘度指数調整剤、摩擦低減剤、防錆剤等)
		c	燃焼改良剤(燃焼促進剤、セタン値向上剤、アンチノック剤等)
		d	水結防止剤、着臭剤
		z	その他
	上記以外		
98	その他の原料、その他の添加剤	z	その他の原料、その他の添加剤
99	輸出入	a	輸出入

建設資材

固形燃料

建設資材

用途番号 (#)	用途分類	詳細用途番号	詳細用途分類
137	金属加工油、防錆油 [金属加工油以外の加工油も含む]	a	水溶性金属加工油の基油
		b	不溶性金属加工油の基油、防錆油の基油
		c	水溶性金属加工油添加剤
		d	不溶性金属加工油添加剤、防錆油添加剤
		z	その他
138	電気・電子材料 [対象材料等の製造用プロセス材料を含む]	a	磁性材料[#138-fを除く]、導電材料、超電導材料、蛍光体材料
		b	半導体材料、有機半導体材料、液晶材料
		c	誘電体材料、抵抗体材料、固体電解質材料、電解液材料、セパレータ材料
		d	光導波路材料(光ファイバを含む)、光学フィルム材料、電子機器用光材料
		e	封止材、絶縁材料、シールド材料
		f	電子記憶媒体材料(磁性材料、光吸収色素等)
		z	その他
	[絶縁油は#136]		
139	電池材料(一次電池、二次電池)	a	電解質材料、電解液材料、絶縁材料、セパレータ材料
		b	電極材料(活物質、集電体、導電剤、バインダー等)、減極剤
		z	その他
140	水処理剤	a	腐食防止剤、防錆剤、防食剤、防スケール剤、防藻剤
		b	金属イオン捕捉剤、金属イオン封鎖剤、硬水軟化剤
		c	イオン交換体(有機及び無機イオン交換体)、分離膜
		d	酸化剤、還元剤、pH調節剤
		e	消泡剤、凝集剤、濾過助剤、脱水助剤、イオン交換樹脂再生剤
		z	その他
141	乾燥剤、吸着剤	a	乾燥剤、脱水剤
		b	吸着剤(脱臭剤、脱硝剤、ガス吸着剤等)
		c	吸収剤(脱酸素剤等)
		z	その他
142	熱媒体	a	冷媒、冷却剤
		b	熱媒、加熱剤
		z	その他
143	不凍液	a	不凍液(LLC等)
		b	防錆剤、防食剤
		z	その他
144	建設資材、建設資材添加物	a	表面硬化剤
		b	コンクリート混和剤(強化剤、減水剤)
		c	離型剤、消泡剤
		d	木材補強含浸剤、木質板添加剤
		e	防汚剤[#17-b,cを除く]、防水剤、撥水剤
		f	建設資材
		z	その他
145	散布剤、埋立処分前処理薬剤(融雪剤、土壌改良剤、消火剤等)	a	凍結防止剤(融雪剤等)
		b	土壌改良剤、地盤改良剤
		c	消火剤
		d	人工降雨剤
		e	油処理剤
		f	粉塵結合剤、粉塵防止剤、煤塵処理剤
		z	その他
146	分離・精製プロセス剤 《鉱業、金属製造業での用途》 [分離・精製溶剤は#107]	a	浮選剤(捕収剤、起ほう剤、条件剤)、金属浸出剤
		b	凝集剤、 乳化剤 、分散剤、金属捕捉剤
		z	その他
147	燃料、燃料添加剤	a	燃料
		b	燃料添加剤(清浄分散剤、酸化防止剤、粘度指数調整剤、摩擦低減剤、防錆剤等)
		c	燃焼改良剤(燃焼促進剤、セタン値向上剤、アンチノック剤等)
		d	水結防止剤、着臭剤
		z	その他
	[固形燃料は#121]		
	上記以外		
198	その他の原料、その他の添加剤	z	その他の原料、その他の添加剤
199	輸出入	a	輸出入